

秦野市ごみ減量通信

第 37 号

平成29年2月発行

発行 秦野市環境資源センター（秦野市名古木409番地） 電話：82-4401（直通）
粗大ごみ・剪定枝戸別収集受付電話：82-0053（秦野市名古木 409 番地：環境資源センター内）
E-mail：k-sigen@city.hadano.kanagawa.jp

市民の皆さんに、秦野市のごみの現状を知ってもらい、ごみ減量等の大切さを理解していただくため、『秦野市ごみ減量通信』を発行しています。

本市のごみの状況をお知らせします。

日ごろからごみの分別に御協力いただきありがとうございます。今回は、ごみの状況について、報告します。

現在、本市のごみの減量は進んでおらず、速報値は昨年度の同じ時期に比べ増加に転じており、皆様の御協力が必要です。

平成27年度家庭ごみ排出量(対昨年度比)
4万3227トン(約327トン減)
平成27年度処理経費(対昨年度比)
16億9750万1479円(約4千万円増)

平成28年12月時点ごみ搬入量(対昨年度同時期比)
3万2902トン(87トン増)

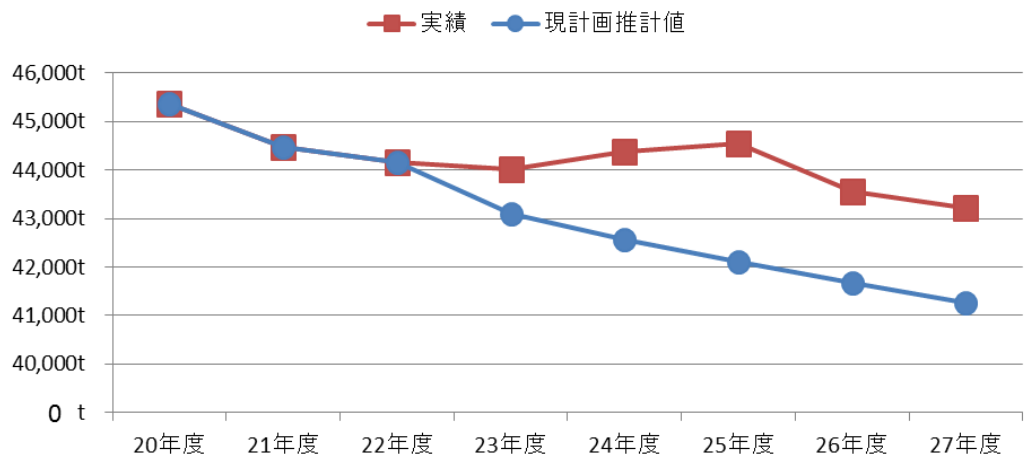
1日卵2個分の可燃ごみを減量しましょう！

現在のごみの焼却体制は、はだのクリーンセンター（200トン/日）と伊勢原清掃工場（90トン/日）で行っていますが、伊勢原清掃工場の焼却炉は、老朽化が進んでいるため、早急に、はだのクリーンセンターのみで焼却できる量までさらに減量する必要があります。

本市では、この状況を踏まえ、「ごみ処理基本計画」を定めており、その中で可燃ごみの回収量の推計値を算出しています。

しかし、昨年までの実績は推計値を上回っており、まずは、この推計値を目標に減量する必要があります。

家庭ごみの排出量と現計画推計値との比較



目標は、毎日卵2個分（90グラム）です。

市民一人一人が、実際に毎日卵2個分の可燃ごみを減らすと・・・。
(平成28年10月1日時点の人口16万6668人)

年間約5,470トンの削減！

昨年の実績にこの数字を反映させると・・・市で算出した推計値を下回ります！

今より、さらにごみを減らすにはどうすればいいのでしょうか？裏面を御覧下さい！

生ごみはもうひと絞りしよう！

生ごみの8割は水分です！
市販の水きりネットなどで、水を切ると生ごみを減らせます。

あとひと絞りが生ごみ減量の第一歩です！

※ 生ごみの減量には、生ごみ処理機の活用も有効です！



みんなで減らそう
可燃ごみ！

使えるものは売ってみよう！

粗大ごみの中には、まだまだ使えるものが捨てられています。

使えるものを捨ててしまうのは、もったいない！友人等に譲る、ネットオークションやリサイクルショップを活用するなどして、リユース（再利用）を促進し、減量に役立てましょう。



マイバックを使ってみよう！

皆さんはレジ袋を買っていますか？
持ち帰っても、溜まってしまい、結果的にごみになってしまうこともあります。



そんな方は、マイバックを使ってみませんか？マイバックで買い物をすると、値引きをするお店もあります。お財布にも環境にも優しいマイバックを持って、お買い物へ行きましょう！



色々な方法で資源物を出そう！

資源物は市の収集や環境資源センター等に設置しているストックハウスに出せますが、他にも以下のような方法があります。

古紙 市内の古紙問屋を活用

（例：タンザワ 秦野市曾屋357）

カン 地域等の集団資源回収を活用

容器包装プラスチック・ペットボトル

お買い求め先のスーパー等に設置してある回収ボックスへ戻しましょう。

道路上のごみ収集場所 ヒヤツとしたことはありませんか？

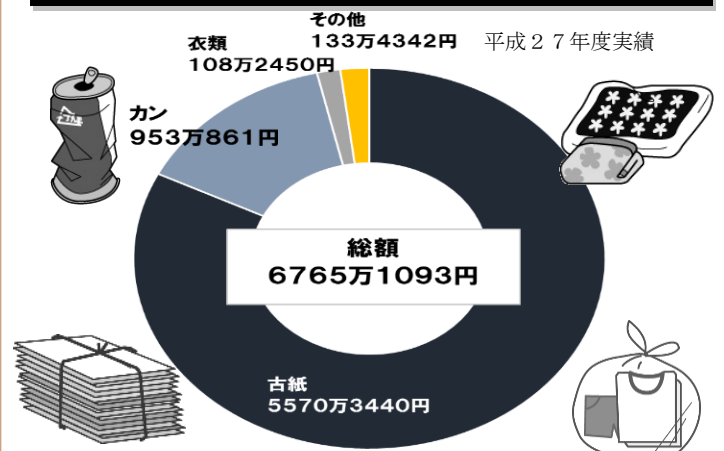
市内の約3,900ヶ所のごみ収集場所のうち、約700箇所が、道路や歩道上に設置されています。

より一層の安全を確保するために
移転や統廃合などを
地域で検討しては
いかがでしょうか？



移転等には、手続が必要です。
環境資源対策課までご連絡下さい。
（業務管理担当 ☎82-4401）

資源物の売却額について



市民の皆様の御協力で分別された資源物は売却され、市の収入となっています。

その他の資源物は次のとおりです。

廃食用油・・・84万1384円

小型家電・・・22万2314円

木質系粗大ごみ・・・27万644円